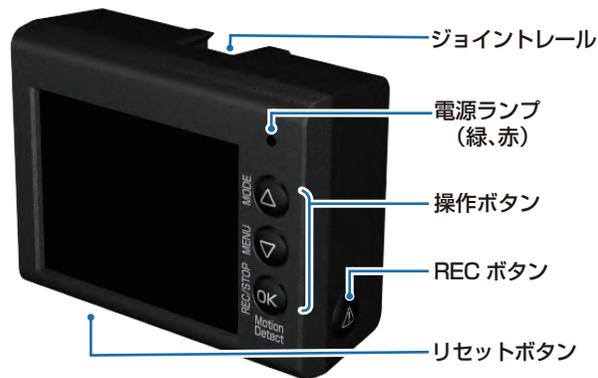


各部名称

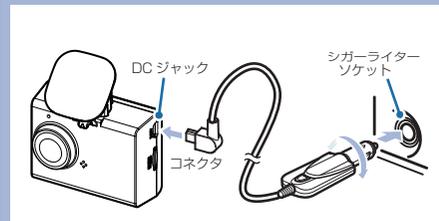
DC ジャック (DC5V)
microSD カード挿入口



接続方法

付属品のシガープラグコードを、本体の DC ジャックと車両のシガーライターソケットに差し込みます。

※シガープラグコードのコネクタは、正しい向きで接続してください。故障や破損の原因になります。



■ 本機の特徴

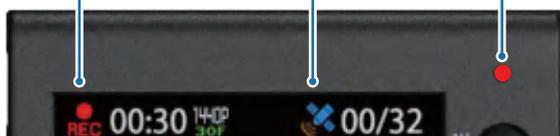
- きれい!** FULL HD を超える QUAD HD 録画! 約 350 万画素の超高解像度録画を実現!
- 安全!** Active Safety 機能! Start information・レーンキープアシスト・前方衝突防止アラート搭載
- 便利!** 動体検知機能! 動きを検知した時だけ自動で記録

DRY-ST7000cの使い方

エンジンの始動

本機に電源が供給されると、電源ランプ(赤)と録画アイコンが点灯し、録画(常時録画)を開始します。
※本機は、エンジンキーに連動して録画を開始します。

録画アイコン GPS アイコン 電源ランプ(赤)



GPS を測位すると、GPS アイコンが表示し、GPS 情報を取得します。

※GPS 情報を取得すると、自動的に日時を調整します。



測位



非測位

電源ランプについて

電源ランプの状態	本体の動作
赤の点灯	常時録画中
赤の遅点滅	イベント記録中
緑の点灯	上記以外の動作
消灯	電源 OFF / 動体検知機能停止中

衝撃を検知する (Gセンサー記録)

G センサーが一定以上の衝撃を検知すると、その映像ファイルを SD カードの専用フォルダに移動します。

一定以上の衝撃を検知



イベント記録アイコン



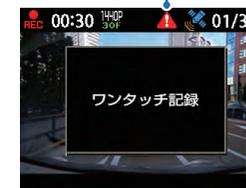
衝撃を検知すると、イベント記録アイコンが点灯し、電源ランプ(赤)が遅点滅になります。

※事故発生時の衝撃が弱い場合、G センサーが衝撃を検知できない場合があります。その際は、常時録画の映像をご確認ください。
※事故発生時のタイミングによって移動するファイル数が異なります。詳しい情報は本機の取扱説明書をご参照ください。

手動で記録する (ワンタッチ記録)

ワンタッチ記録は、任意のタイミングで映像を記録することができます。
常時録画中に本機の REC ボタンを押すことで、現在撮影中の映像ファイルを SD カードの専用フォルダに移動します。

イベント記録アイコン



イベント記録アイコンが点灯し、電源ランプ(赤)が遅点滅になります。

※ワンタッチ記録ファイル生成後は、自動で常時録画へ戻ります。
※REC ボタンを押すタイミングによって移動するファイル数が異なります。詳しい情報は本機の取扱説明書をご参照ください。

上書きモードについて

SD カードのファイル容量が上限に達した場合の動作を下記から選択できます。

上書きモード	
上書き禁止	全ての録画ファイルは上書きされません。
常時録画上書き	保護していない常時録画ファイルのみ上書きします。
全て上書き (初期値)	保護していない録画ファイルを上書きします。

※上書きモードについての詳しい情報は本機の取扱説明書をご参照ください。

エンジンを切る

録画が停止し、電源 OFF になります。

※本機は、エンジンキーに連動して録画を停止します。

「1～2週間に一度」、本機でSDカードをフォーマットしてください。

※フォーマットを行うと、保護したファイルも全て削除されます。必要に応じてパソコンにバックアップなどしてからフォーマットしてください。

① 録画中にOKボタンを押す

録画を停止します。

- ・録画停止中は電源ランプ(緑)が点灯し、録画アイコンの表示が消えます。



② ▽ボタンを押す

設定メニューを表示します。



<設定メニュー>

③ 「SD初期化」を選択する

△ボタンを数回押し、「SD初期化」を選択し、OKボタンを押します



④ 「SD初期化」を実行する

▽ボタンを押し、「実行」を選択して、OKボタンを押します。



「SDカードの初期化が完了しました」と表示されていることを確認します。OKボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

⑤ RECボタンを押す



録画を再開します。

先行車の発進、または先行車との接近のしすぎ、さらに走行車線のはみ出しを音と表示でお知らせします。

※「レーンキープアシスト」と「前方衝突防止アラート」を使用するには、本機にて「AS設定」が必要です。設定の手順は3ページ目の「AS設定を行う」を参照ください。

Active Safety 機能は、運転者の判断を補助し、運転負荷の軽減を目的としています。事故を未然に防ぐものではありません。

Start information (スタートインフォメーション)

信号待ちなどで停止している状態で、先行車が発進しても自車が止まったままの場合や渋滞中に自車が先行車により近づいた場合に表示と音でお知らせします。

- ・信号待ちなどで、先行車のうしろで自車が停止した状態



- ・先行車が発進し、自車が停止した状態



画面表示と音でお知らせ

「ポロロン」という音が鳴り、下記の画面を約5秒間表示します。



※音量をOFFにした場合は、音は鳴りません。表示のみのお知らせとなります。

レーンキープアシスト

走行中に自車の車線逸脱(走行車線からはみ出し)を検知すると、表示と音でお知らせします。



画面表示と音でお知らせ

「ポロロン」という音が鳴り、下記の画面を約5秒間表示します。



※音量をOFFにした場合は、音は鳴りません。表示のみのお知らせとなります。

前方衝突防止アラート

走行中に先行車と接近しすぎた場合に、表示と音でお知らせします。

- ・先行車と自車が接近



画面表示と音でお知らせ

「ポロロン」という音が鳴り、下記の画面を約5秒間表示します。



※音量をOFFにした場合は、音は鳴りません。表示のみのお知らせとなります。

- ・ Start information ※1
- ・ レーンキープアシスト
- ・ 前方衝突防止アラート



先行車の発信をお知らせ



車線逸脱をお知らせ



先行車との接近をお知らせ

※1 「Start information」は設定の必要はありません。

「レーンキープアシスト」と「前方衝突防止アラート」を使用するには、本機にて AS 設定が必要です。

※設定をせずに使用すると、うまく働かない場合があります。

※AS 設定は、安全な場所で行ってください。また、なるべく平坦な場所で行ってください。

① 録画中にOKボタンを押す

録画を停止します。

- ・ 録画停止中は電源ランプ(緑)が点灯し、録画アイコンの表示が消えます。



② ▽ボタンを押す

設定メニューを表示します。



<設定メニュー>

③ 「AS 設定」を選択する

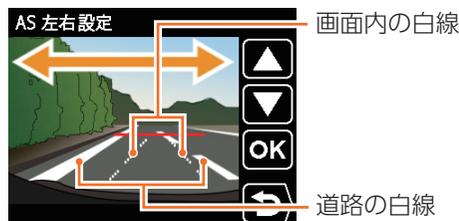
▽ボタンを押し、「AS 設定」を選択して、OK ボタンを押します。



④ 左右位置合わせをする

△▽ボタンを押し、画面内の白線と道路の白線の左右位置を合わせ、OK ボタンを押します。

- ・ 画面右のボタン表示は数秒間表示後消えます。



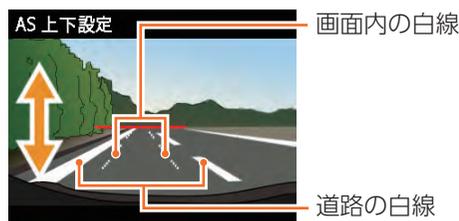
<AS 左右設定画面>

AS 左右設定画面のボタンの機能

ボタン	機能	ボタン	機能
△	画面内の白線が左へ移動します。	OK	次の設定項目へ移ります。
▽	画面内の白線が右へ移動します。	REC	前の画面へ戻ります。

⑤ 上下位置合わせをする

△▽ボタンを押し、画面内の白線と道路の白線の上下位置を合わせ、OK ボタンを押します。



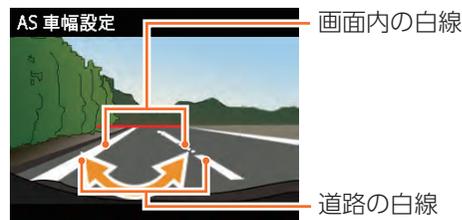
<AS 上下設定画面>

AS 上下設定画面のボタンの機能

ボタン	機能	ボタン	機能
△	画面内の白線が上へ移動します。	OK	次の設定項目へ移ります。
▽	画面内の白線が下へ移動します。	REC	前の画面へ戻ります。

⑥ 白線の幅を合わせる

△▽ボタンを押し、画面内の白線と道路の白線の幅を合わせます。



<AS 車幅設定画面>

AS 車幅設定画面のボタンの機能

ボタン	機能	ボタン	機能
△	画面内の白線が幅を狭くします。	OK	次の設定項目へ移ります。
▽	画面内の白線が幅を広くします。	REC	前の画面へ戻ります。

- ・ 画面内の白線と道路の白線が合わない場合…

手順④から⑥を何度か繰り返し、白線の位置を調整します。

- ・ 良い見本

道路上の白線と本機画面内の白線が重なっている



- ・ 悪い見本

道路上の白線と本機画面内の白線がズれている



⑦ REC ボタンを押す



AS 設定が保存され、設定メニュー画面を表示します。

本機で録画した映像は、パソコンに専用ビューアソフトをインストールすることにより、GoogleMaps と連動させて表示することができます。

※地図の表示にはインターネット接続環境が必要です。

本機で使用する専用ビューアソフトは、付属のmicroSDカード内に収録されていません。お手数ですが、弊社ホームページ (<http://www.yupiteru.co.jp/>) からダウンロードしてください。

OS : Microsoft Windows 7, 8 または 10
CPU: Core2Duo 相当、2.0GHz 以上
メモリ : 2GB 以上

ファイルコントロール

- 1 ファイルを開く
 - 録画ファイルを1ファイル開いて再生します。(「1 ファイルを開く」を行っても再生リストには追加されません)
- 再生
 - 録画ファイルを再生します(再生リストに複数の録画ファイルがある場合、連続して再生します。)
- 停止
 - 再生中の録画ファイルを停止します
- 一時停止
 - 一時停止します。
- ウィンドウサイズ切替 (全画面)
 - 映像の全画面表示
- 静止画変換
 - 再生中、一時停止中の映像から静止画 (JPEG ファイル) に変換して保存します。
- ウィンドウサイズ切替 (標準画面)
 - 標準表示を切り替えます。
- 1 フレーム再生
 - クリック毎に1フレーム進めた映像を表示します。

専用ビューアソフトの画面について



タイムライン
・クリック位置から再生できます。

表示エリア
・選択した録画ファイルの映像を表示します。

- 再生リストの操作
- ファイルを再生、リストへ追加
・再生リストに1ファイル追加します
 - ファイルを再生、リストから削除
・再生リストから1ファイル削除します
 - フォルダを再生、リストに読込
・再生リストに、フォルダ単位で録画ファイルを読み込みます

再生リスト
・録画ファイル名と録画終了日時(年月日と時分秒)を表示します。

地図表示
・読み込まれた映像はGoogle Mapsに連動して自転車位置が移動します。

走行速度表示
・GPSで記録した走行速度を表示します。

ファイル情報
・表示している画面の緯度、経度、高度、加速度(X・Y・Z)を表示します。

<標準表示>

録画ファイルを再生する

- ① 本機から取り出したSDカードを専用ビューアソフトがインストールされているパソコンに接続する
- ② デスクトップにある [PC Viewer DRY TypeE] アイコンをクリックする
※専用ビューアソフトが起動します。



- ③ (フォルダを再生リストに読込) をクリックする
- ④ 接続したSDカードの再生したいフォルダを選択し、[OK]をクリックする



「Normal Rec」フォルダ
…常時録画
「Sensor Rec」フォルダ
…G センサー記録
「EVSW」フォルダ
…ワンタッチ記録

- ⑤ 再生したい録画ファイルをダブルクリックする

